

プロフェノホス乳剤 エンセダン乳剤	取扱メーカー： シンジェンタ 原体メーカー： シンジェンタ
成分： プロフェノホス〔有機リン系 PRTR・1種〕……40.0% その他 PRTR 該当成分： ナフタレン〔PRTR・1種〕……………2%	性状： 淡黄色澄明可乳化油状液体 毒性： 普通物 消防法： 第4類・第3石油類（非水溶性）・危険等級III

【品目特性】……………

- 広範囲の殺虫スペクトラムを有し、咀嚼く性害虫を始め吸汁性害虫、ダニ、アザミウマ類に対し優れた防除効果を示す。
- 食毒及び接触毒の2つの作用を持ち、各種の害虫に対し安定した防除効果を示す。
- 防除が困難なチョウ目害虫の中老齢幼虫に対しても高い防除効果を示す。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

〈てんさい〉

- 第2世代のヨトウムシに対して、発蛾最盛期の5～7日後とその7～10日後に1500倍を散布する。

〈ばれいしょ〉

- アブラムシに対しては、ウイルス病を防ぐためにも早期防除を心掛ける。
- 繁茂している時期には、散布薬液量を多くし、下葉にも十分かかるように散布する。

【薬効・薬害等の注意】……………

- てんさいに対しては、ヨトウムシの1化期防除時期、即ち葉の生育が旺盛な6月下旬～7月上旬に散布すると葉に葉斑を生じる場合があるが、その後の生育には影響はない。
- ガーベラに使用する場合にはあらかじめガーベラに散布してみて薬害がでないことを確かめた上で使用する。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさける。
- 適用作物（てんさい）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】……………

- 共通注意事項7. ミツバチに対する注意事項を参照。
- 魚類、甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。
- 吸入した場合には空氣のきれいな場所に移動し、安静、保温に努め、医師の手当を受ける。
- 施設内で使用する場合には、野外で散布する場合の注意事項を厳守すると共に、窓を開放するなどして、換気にも十分注意し、散布液が施設内にこもらないようにする。
- 共通注意事項6. 街路・公園・堤とう等で使用する場合の注意事項を参照。



【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	プロフェノホスを含む農薬の総使用回数	
ばれいしょ	ヨトウムシ テントウムシダマシ アブラムシ類	1500倍	7日前まで	6回以内		6回以内	
かんしょ	ナカジロシタバ ハスモンヨトウ		3回以内	14日前まで		3回以内	3回以内
てんさい	ヨトウムシ カメノコハムシ ナミハダニ						
茶	チャノコカクモンハマキ チャハマキ チャノキイロアザミウマ チャノホソガ	1000～1500倍	最終摘採後～ 萌芽前まで 但し、摘採 60日前まで	1回	散布	1回	
	チャノミドリヒメヨコバイ カンザワハダニ ヨモギエダシヤク チャノホコリダニ	1000倍					
つばき類	チャドクガ	1500倍	—	4回以内		4回以内	
ガーベラ	ミカンキイロアザミウマ	1000倍		6回以内		6回以内	